



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



この症状はどんな病気？～うどんこ病～

【うどんこ病】(*Oidium neolyccopersici* 又は *Oidiopsis sicula*など)



2種の病原菌によって引き起こされ、いずれも主に葉が侵されるが、激しく発生すると、葉柄・果柄・ヘタなどにも発生する。

*Oidium*菌は、うどん粉を振りかけたように白いカビが密生し、被害部の組織が黄化する。



*Oidiopsis*菌は、葉の裏面が紅褐色に、表面は黄化する。菌糸が葉の組織内に蔓延するため、表面に発生するカビは非常に少ない。

いずれの菌も乾燥条件下で発生が多い。

発病しやすい環境とは…？

- 夏の暑さで樹勢が低下している時
- 昼夜の温度変化が激しい時
- 夜間多湿 + 日中やや乾燥条件の時



農薬以外でも対策しましょう！

- ✓ 発病した被害葉は速やかに除去、圃場外へ
- ✓ 風通しや日当たりを改善
- ✓ 適切な施肥を行い樹勢回復
- ✓ ハウス内の湿度や温度管理

⚠ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ ⚡

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数	
								ミツバチ	マルハナ
50	うどんこ病	クロスアウトフロアブル	○	○	3000倍	前日	2回	0日	1日
6	コナジラミ類・トマトサビダニ・オオバコガ ハスモヨトウ・トマトキバガ・ハモグリバエ類 ミカンキイロアザミウマ	アニキ乳剤	—	—	2000倍 (コナジラミ類・ミカンキイロアザミウマ: 1000~2000倍)	前日	3回	1日	
U06 3	うどんこ病	パンチョTF顆粒水和剤	○	○	2000倍	前日	2回	0日	
5	コナジラミ類・アザミウマ類・トマトキバガ ハモグリバエ類・オオバコガ・ハダニ類	ダブルシューターSE	—	—	1000倍	前日	2回	2日	3日
7	うどんこ病・菌核病・すすかび病 灰色かび病・葉かび病・輪紋病	ネクスタークロアブル	○	—	1000倍	前日	3回	1日	
—	うどんこ病・アザミウマ類 コナジラミ類・ハダニ類	フーモン※	—	—	1000倍	前日	—	0日	
M07 53	うどんこ病・すすかび病・葉かび病	フセキワイドフロアブル	○	△	1000倍	前日	3回	0日	
34	タバコナジラミ類 (シリバーリーコナジラミを含む) トマトサビダニ・アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	—	—	1000~2000倍 (トマトサビダニ: 1000~4000倍)	前日	3回	1日	

作物によって対象病害虫や希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

※野菜類登録

海藻抽出物100%使用

海のチカラを植物へ。

マリンインパクト

- ◆健全育苗や初期生育の充実
- ◆長期取り作物のストレス対策に
- ◆成り疲れ対策にも効果抜群！

500~1,000倍

〈定植直後〉2週間おき2~3回

〈着果・果実充実〉2週間おき2~4回



おすすめ資材 ピュア酸素

- ☆土壤に酸素を供給し、根の活動を活発に！
- ☆肥料・葉面散布剤の吸収を良くします！

5~10kg/10a
7~10日おき灌水処理

